

**2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)**

2019年8月6日

上場会社名 日東工器株式会社

上場取引所 東

 コード番号 6151 URL <http://www.nitto-kohki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 明誠

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR担当 (氏名) 新井 一成

TEL 03-3755-1111

四半期報告書提出予定日 2019年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

**1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)**
**(1) 連結経営成績(累計)**

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,944	3.9	1,169	14.5	1,189	18.4	805	22.3
2019年3月期第1四半期	7,222	7.7	1,368	12.5	1,457	16.6	1,037	17.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 800百万円 (51.2%) 2019年3月期第1四半期 529百万円 (41.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	37.98	
2019年3月期第1四半期	48.82	

**(2) 連結財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	61,780	54,222	87.8	2,565.39
2019年3月期	62,250	54,402	87.4	2,560.06

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 54,214百万円 2019年3月期 54,395百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		34.50		34.50	69.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		31.50		31.50	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)**

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,146	4.0	2,501	14.0	2,541	14.8	1,740	18.4	81.89
通期	30,110	4.0	4,720	14.0	4,780	11.0	3,300	9.4	155.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	21,803,295 株	2019年3月期	21,803,295 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	670,197 株	2019年3月期	555,676 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	21,215,531 株	2019年3月期1Q	21,247,734 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、製造業では、中国向け産業機械などの輸出が減少した影響から足元の足踏みが見られました。一方で、企業の設備投資では、省力化・合理化に向けた投資需要や、老朽化した設備の更新需要が底堅く推移しました。建築・建設関連では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに関連する建設需要をはじめとして、企業収益の改善等を目的とした設備投資による民間建設投資を背景に、市場環境は好調に推移しました。

世界経済をみると、好調を維持していた米国において財政政策の効果が徐々に薄れ、成長に陰りが見え始めており、米中貿易戦争の影響による中国経済の鈍化や制裁課税対象品目の拡大、欧州における政治混乱の増大など、不透明な状況が続いています。

このような経営環境の中で、当社グループは、当第1四半期連結累計期間における売上高は69億44百万円となり、前第1四半期連結累計期間72億22百万円と比較すると、3.9%の減収となりました。利益面では、営業利益は11億69百万円となり、同13億68百万円と比較すると14.5%の減益、経常利益は11億89百万円となり、同14億57百万円と比較すると18.4%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億5百万円となり、同10億37百万円と比較すると22.3%の減益となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、半導体関連の減速や、中国経済の減速に伴う中国・アジアの販売が伸び悩み、売上高は29億89百万円（前第1四半期連結累計期間比9.2%の減収）となりました。利益面では、売上げの減少にともないセグメント利益は7億67百万円（同12.8%の減益）となりました。

機械工具事業は、国内の建設業界向けの販売は堅調でしたが、海外での市況の低迷により、売上高は23億16百万円（同0.9%の減収）となりました。利益面では、売上げの減少と経費の増加によりセグメント利益は2億82百万円（同11.4%の減益）となりました。

リニア駆動ポンプ事業は、海外での売上げの減少に対して新たな顧客の開拓に努め、売上高は10億19百万円（同0.1%の減収）となりました。利益面では、製品構成の影響によりセグメント利益は32百万円（同64.1%の減益）となりました。

建築機器事業は、国内とアジアの売上げが堅調だったため、売上高は6億18百万円（同8.4%の増収）となりました。利益面では、売上げの増加によって、セグメント利益は87百万円（同11.5%の増益）となりました。

海外売上高は、19億81百万円（前第1四半期連結累計期間比12.9%の減収）となりました。アジアを中心に売上げが減少し、海外売上高の連結売上高に占める割合は28.5%となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、617億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億69百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は443億74百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億61百万円の減少となりました。これは主に有価証券の減少14億99百万円、現金及び預金の増加4億48百万円、商品及び製品の増加3億23百万円等によるものであります。

固定資産は、174億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して92百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産の増加1億46百万円、繰延税金資産の増加56百万円及び投資有価証券の減少1億13百万円等によるものであります。

負債の部では流動負債は、36億35百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億76百万円の減少となりました。これは主に賞与引当金の減少2億70百万円等によるものであります。

固定負債は、39億22百万円となり、前連結会計年度末と比較して11百万円の減少となりました。これは主に役員退職慰労引当金の減少70百万円、退職給付に係る負債の減少5百万円、リース債務の増加64百万円等によるものであります。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億5百万円でしたが、配当金の支払い7億33百万円があったため、利益剰余金は、72百万円の増加で509億17百万円となりました。また、自己株式が2億48百万円の増加、その他有価証券評価差額金が84百万円の減少、為替換算調整勘定が76百万円の増加、退職給付に係る調整累計額が2百万円の増加等があったため純資産合計は、542億22百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億80百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月9日の「2019年3月期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想から変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,978	26,426
受取手形及び売掛金	4,796	4,738
電子記録債権	2,541	2,601
有価証券	5,499	3,999
商品及び製品	3,253	3,577
仕掛品	267	289
原材料及び貯蔵品	2,233	2,312
その他	367	431
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	44,935	44,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,133	11,152
減価償却累計額	△5,635	△5,716
建物及び構築物(純額)	5,498	5,436
機械装置及び運搬具	3,908	4,065
減価償却累計額	△2,788	△2,880
機械装置及び運搬具(純額)	1,120	1,185
工具、器具及び備品	6,898	7,005
減価償却累計額	△6,393	△6,462
工具、器具及び備品(純額)	504	543
土地	3,682	3,685
リース資産	1,726	1,887
減価償却累計額	△678	△721
リース資産(純額)	1,048	1,166
建設仮勘定	199	184
有形固定資産合計	12,054	12,200
無形固定資産		
その他	609	619
無形固定資産合計	609	619
投資その他の資産		
投資有価証券	3,180	3,066
長期貸付金	55	52
繰延税金資産	1,180	1,236
その他	250	247
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,650	4,586
固定資産合計	17,314	17,406
資産合計	62,250	61,780

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	978	1,039
リース債務	198	251
未払法人税等	418	438
賞与引当金	586	315
役員賞与引当金	32	10
その他	1,698	1,581
流動負債合計	3,912	3,635
固定負債		
リース債務	845	910
退職給付に係る負債	2,473	2,468
役員退職慰労引当金	270	200
資産除去債務	11	11
その他	333	332
固定負債合計	3,934	3,922
負債合計	7,847	7,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,924	1,924
利益剰余金	50,844	50,917
自己株式	△918	△1,167
株主資本合計	53,700	53,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	872	788
為替換算調整勘定	△123	△47
退職給付に係る調整累計額	△54	△51
その他の包括利益累計額合計	694	689
非支配株主持分	7	7
純資産合計	54,402	54,222
負債純資産合計	62,250	61,780

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,222	6,944
売上原価	3,518	3,369
売上総利益	3,704	3,575
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	590	621
賞与引当金繰入額	180	178
退職給付費用	37	41
役員退職慰労引当金繰入額	9	8
販売促進費	267	262
研究開発費	209	212
その他	1,040	1,080
販売費及び一般管理費合計	2,335	2,405
営業利益	1,368	1,169
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	29	34
為替差益	51	-
受取家賃	8	8
その他	22	8
営業外収益合計	122	59
営業外費用		
売上割引	26	25
為替差損	-	11
その他	7	2
営業外費用合計	33	39
経常利益	1,457	1,189
税金等調整前四半期純利益	1,457	1,189
法人税等	420	383
四半期純利益	1,037	806
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,037	805



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,037	806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143	△84
為替換算調整勘定	△362	76
退職給付に係る調整額	△1	2
その他の包括利益合計	△507	△5
四半期包括利益	529	800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	529	800
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

在外連結子会社

「リース」(IFRS第16号)

「リース」(IFRS第16号)を当第1四半期連結会計期間の期首より適用しております。

本基準の適用による財政状態及び経営成績に与える影響は軽微であります。

なお、本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	3,293	2,338	1,019	571	7,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,293	2,338	1,019	571	7,222
セグメント利益	880	318	91	78	1,368

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	2,989	2,316	1,019	618	6,944
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,989	2,316	1,019	618	6,944
セグメント利益	767	282	32	87	1,169

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。